令和４年度　開成町立開成小学校学校だより　第９号

開物成務

令和５年　２月　28 日（火）発行　　校長　渡辺　理恵

「すてきさんポスト」～児童会活動の取組

本校のめざす学校像は、「開成小の“すてきさん”が『つくる・そだてる』じまんの学校」です。企画委員会が中心となり、全校で「すてきさん」を見つける「すてきさんポスト」という取組を行いました。

優しかったり、親切だったり、進んで物事に取り組んでいたり、一生懸命がんばったり等、すてきな行動をしている子のことを「すてきさん」と呼んでいます。

企画委員会が提案したこの取組が、各学級で早速始まりました。中心にポストが貼ってある大きな模造紙に、「すてきさん」な姿が書かれた小さい紙が貼られていきます。各学級を参観すると、最初は3、4枚しか貼られていなかった「すてきさん」も、日を追うごとにどんどん増え、2月の中旬にはどのクラスもいっぱいになりました。

現在、2 階の渡り廊下に全学級のものが掲示されており、本当に圧巻です。開成小にはこんなにたくさんの「すてきさん」がいることがうれしいです。また、たくさんの「すてきさん」を見つけられる子がいることも、友達の良さを認められるという心の成長を感じることができ、さらにうれしいです。

自分のことだけではなく、他人の良さを認めることができるというのは、人間関係づくりでとても大事なことです。本校の特別活動のねらいである「関わり合い認め合う集団づくり」に迫ることができ、今年度のまとめにふさわしく、来年度につながる取組だったと思います。

避難訓練～予告なし～

予告なしの避難訓練を行いました。中休みの最中で、教室にいたり、校庭で遊んでいたり、移動中だったり・・・・。子どもたちには、事前にどのような動きをすればよいのか指導してあったので、スムーズに避難することができました。校庭では、5・6 年生が下学年の子たちに声をかけ、誘導する頼もしい姿も見られました。また、1 人行方不明という設定で、職員が検索の訓練をすることもできました。

丁度、1週間前にトルコ・シリアの大地震があったばかりで、日頃の訓練の重要性を感じました。自分で考え、判断し、行動できるように、このような訓練を積み重ねていきます。

スクール・ボランティアの皆様 ありがとうございました！！

今年度、学校運営協議会の活動の一つとして、スクール・ボランティアを立ち上げました。

今までは、担当学年が授業に合わせ、直接ボランティアをお願いしていましたが、体制を整え、担任から希望があった場合、担当教諭とスクール・ボランティアコーディネーターを中心に、マチコミメールを通して依頼する形に変更しました。本読みママさんの方々をはじめ、クラブ活動、家庭科、クリーンデー、環境整備、昔遊び、彫刻刀指導補助等、延べ 50 名の方々にご協力いただきました。ボランティアさんがいらっしゃることで、たくさんの子どもたちに目が行き届き、安心して学習を進めることができました。

本当にありがとうございました。来年度もたくさんの方々に登録していただきたくお願いします。

6年生の考えた献立

本校では、栄養教諭が中心となって、食に関する指導と給食管理をしっかりと進めてくれています。毎月の献立の裏面には、給食だよりとして食育に関する情報が所狭しと載っています。また、旬の食材や地産地消の献立、行事食はもちろんのこと、読書週間に合わせた取組やリクエスト給食など、大変工夫した給食が提供されています。

いろいろな学年の食に関する学習では、ゲストティーチャーとして栄養教諭が授業支援をしています。6 年生の家庭科「こんだてをくふうして」では、栄養素や必要な栄養価、旬のものを使うことなど、献立を立てるうえで大切なことを教えてくれました。6 年生はそれを生かして、クラス一押し献立を考え、栄養教諭は、実際にその献立を実現させてくれました。2 月 22 日は 6 年 1 組の「冬のあったか献立」、2 月 27 日は 6 年 2 組の「みんなに人気な給食献立」でした。野菜たっぷり、彩りもよく、栄養価も申し分ない素敵な給食でした。

6 年生が、小学校の給食を食べられるのも残り 13 回です。大きくなって、給食の楽しい思い出を語ることができるとうれしいですね。

4年生～車いす体験・阿波踊り

4年生は、総合的な学習の時間「ともに生きる」で、コロナ禍で延期になっていた『車いす体験』をしました。

町社会福祉協議会の方と介護用品を製造販売している会社の方が来られ、車いすのことを詳しく丁寧に教えていただきました。その後、実際に、車いすに乗る人、押す人、声をかける人の3人1組になって、体験をしました。車いすを押す速度が速すぎたり、声掛けが上手くいかなかったりと実際はとても難しいことがわかりました。

社会科「阿波踊り」では、阿波踊りの会の方をお招きしました。阿波踊りの歴史や活動を続ける思いを話していただき、その後、子どもたちの疑問に答えてもらいました。また、実際に阿波踊りも踊っていただきました。最初は踊ることを恥ずかしがっていた子どもたちでしたが、連に所属している子どもたちを中心に、1人増え2人増え、次第に阿波踊りの楽しさが伝わり、最後は4年生全員で踊り、盛り上がったようです。来年度の阿波踊りは、たくさんの新5年生が参加しているかもしれません。

ある日のすてきさん

朝、子どもたちに挨拶していると、子どもたちの声や表情から心や体の状態を推察することができます。元気にあいさつしてくれる子、必ず私と会話をしてから行く子、下を向いて元気がない子、目が真っ赤な子・・・。いろいろな子がいます。

ある朝、寝坊したと言って、低学年の子が走って昇降口に入っていきました。その直後、青い顔をして昇降口から大慌てで出てきて、家へ戻ろうとしました。すぐに止めて理由を聞くと、「体温を測ったのに、健康観察カードを忘れちゃった。忘れてはいけないものだから家に取りに行きたい。」と半泣き状態でした。体温は学校でも測ってもらえること、慌てていて、戻る途中に交通事故などにあったりすると大変だから戻ってはいけないこと、担任の先生に忘れてしまったことをきちんと話せば大丈夫ということを話すと、何とか落ち着いて昇降口に戻っていきました。きっと、普段から忘れ物をしないように気を配っている子で、担任の先生もきちんと指導をしているのだなと思いました。ダメだと叱るだけではなく、このような失敗を生かし、どうすれば繰り返さないのか考えさせ、具体的に工夫することが大切です。ご家庭でもご協力ください。